事業の基本情報

1 / C - (III)	14 15.									
事務事業名	421	421 子どもの遊び場設置事業								
予算科目	01-0	0302	201-	-13 子ども	の遊び場割	设置に要する	る経費	担当部課	こども部こども育成課	
市長公約								係名	こども施設管理係	
								新規・継続	継続	
戦略プラン							事業分類	自治事務(任意)		
								事業体制	補助金(直接)	
個別計画	つく	ば市	ī子	ども・子育	了て支援プラ	ラン		事業期間	毎年度	
									03すべての人に健康と福祉を	
	つくば市子供の遊び場遊具設置等補助金交付要綱						an a			
根拠法令等							SDGs			

事業の概要

対象	区会、常設区、自治会(区会等)
目的	子供に安心な遊び場を与え、心身の健全な発達に資する。
概要 (取組内容)	区会等が維持管理する子どもの遊び場について、遊具等の設置、修繕及び点検に要する経費に対し、補助金を交付する。(子供の遊び場遊具設置等補助金)補助金の交付基準は、遊具の設置、修繕及び点検に要する経費の2分の1の額(上限額:設置500千円、修繕100千円、点検20千円)。

コストの推移

		-> 1E D						
項目				令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度
	予算	算額	(千円)	600	600	600	1, 360	1, 360
事	決算	算額	(千円)	17	458	624	0	0
業		一般財源	(千円)	17	458	624	0	0
費	内訳	国庫、県支出金、地方債	(千円)	0	0	0	0	0
		その他	(千円)	0	0	0	0	0
	人件費計		(千円)	1, 367	2, 043	2, 139	1, 382	1, 382
人		正職員従事割合	(人)	0. 20	0.30	0.30	0. 20	0. 20
件費	内訳	正職員時間外勤務	(時間)	0.00	0.00	27. 66	0.00	0.00
貝	II/\	会計年度任用職員有無	(-)	無	無	無	無	無

市民参加の取組状況

共有、理解	
企画・立案、計画	
実行	
評価、検証	

	指標名	各区会等が管理す	る遊具の設置及び	修繕件数	(件)	活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
1	目標値	0.0	1.0	2.0	2. 0	2.0	8.0
1	実 績	1.0	0.0	3. 0	3. 0	6. 0	0.0
	指標の 概要	補助事業の申請件	数				

	指標名				()	
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
2	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
2	実 績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の 概要						
	指標名				()	
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
3	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
3	実 績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の 概要						
	指標名				()	
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
$\begin{vmatrix} 1 \\ 4 \end{vmatrix}$	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
4	実 績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の 概要						
	指標名				()	
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
5	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
5	実 績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の 概要						

前年度の課題への対応		市広報紙や市ホームページ等による周知に加え、区長に当該補助制度の案内文書を送付した。
	成果	市広報紙の掲載(年2回)、市ホームページの掲載(通年)、区長宛て案内文書の送付(年1回)を行った結果、6件の申請があり、同数の補助を実施した。また、相談件数も、令和4年度の9件に対し14件と増加しており、本事業の認知度と区会等における「安全安心な遊び場の確保や管理」意識の向上に寄与することができた。
課	業務	区会が管理する遊具の設置場所や数量を把握していない。
題	組織、予算等	
改善目標		区会担当課等と連携し、遊具の設置場所や数量を把握するための方策を検討する。

評価

<u> </u>		
市民ニーズ	3	今後も一定の市民ニーズが見込まれる。
進捗状況	5	年度当初の計画を上回る進捗で事業を実施することができた。
市の関与	5	市が直接担うべき事業である。
優先度	3	市民ニーズや市民生活への影響等を鑑みて、継続して実施する必要がある。

77 1.3177	
方向性	拡大・拡充
理由	申請及び相談件数が令和4年度と比較し増加しているため。

事業の基本情報

事務事業名	422 公立保育所施設維持管理事業							
予算科目	01-03	0204	-13 保育剤	「管理に要す	「る経費		担当部課	こども部こども育成課
市長公約							係名	こども施設管理係
							新規・継続	継続
戦略プラン							事業分類	自治事務 (任意)
							事業体制	職員のみ
個別計画	つくば	市公	共施設等総	合管理計画	ij	事業期間	毎年度	
							03すべての人に健康と福祉を	
	児童福	祉法	;			an a		
根拠法令等							SDGs	

事業の概要

対象	公立保育所
目的	児童が安全・安心に過ごせる保育環境の整備をする。
概要 (取組内容)	保育所機械警備委託及び消防施設点検等の施設管理委託を実施する。 建築基準法第12条に基づく建築物及び建築設備劣化状況の点検(福祉施設定期点検)を実施する。 保育所施設の修繕工事を実施する。

コストの推移

	<u> </u>	·> 1E D						
項目				令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度
	予算	草額	(千円)	159, 614	169, 576	197, 821	319, 941	319, 941
事	決算	草額	(千円)	143, 206	162, 248	197, 185	0	0
業	内訳	一般財源	(千円)	125, 306	162, 248	197, 185	0	0
費		国庫、県支出金、地方債	(千円)	17, 900	0	0	0	0
		その他	(千円)	0	0	0	0	0
	人件費計		(千円)	9, 094	9, 010	9, 270	5, 526	5, 526
人		正職員従事割合	(人)	1. 30	1. 30	1. 30	0.80	0.80
件費	内訳	正職員時間外勤務	(時間)	86. 37	64. 20	119. 85	0.00	0.00
具	II/	会計年度任用職員有無	(-)	無	無	無	有	有

市民参加の取組状況

共有、理解	
企画・立案、計画	
実行	
評価、検証	

1 111	15.07.45.10.05										
	指標名	保育所数			((か所)	活動結果指標				
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度				
4	目標値	23. 0	23. 0	23. 0	23. 0	23. 0	22. 0				
1	実 績	22. 0	23.0	23. 0	23. 0	23. 0	0.0				
	指標の 概要										

	指標名				(()	
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
2	実 績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の 概要						
	指標名				(()	
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
3	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
3	実 績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の 概要						
	指標名				(()	
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
$ _4$	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0		0.0
4	実 績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の 概要						
	指標名				(()	
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
5	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実 績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の 概要						

前年度の課題への対応		・保育所にWi-Fi環境を整備した。 ・老朽箇所の修繕を計画的に実施した。
成果		・15保育所(「つくば市公立保育所の新耐震基準を満たさない施設の整備方針」に基づき移転、閉所及び 民間移管予定の保育所以外の市立保育所)にWi-Fi環境が整備され、ICT化の推進を図ることができた。 ・フェンス等の破損箇所やすき間等を塞ぐ修繕を実施し、児童の施設外への抜け出し防止に寄与すること ができた。
課	業務	児童の施設外への抜け出し防止のため、フェンス等の高さに基準を定めることの必要性について検討が必要である。
題	組織、予算等	
改善目標		幼児保育課と連携し、フェンス等の高さ基準を定め、基準に沿った対策を実施していく。

評価

市民ニーズ	5	十分に高く、今後も増加が見込まれる。
進捗状況	4	年度当初の計画通りに事業を実施することができた。
市の関与	5	市が直接担うべき事業である。
優先度	4	市民生活への影響等を鑑みて、優先的に取組むことが必要と判断される。

方向性	継続
理由	

事業の基本情報

サ木の名が旧載									
事務事業名	425 児童館施設維持管理事業								
予算科目	01-0	0302	205-	-13 児童館	管理に要す	トる経費		担当部課	こども部こども育成課
市長公約								係名	こども施設管理係
								新規·継続	継続
戦略プラン								事業分類	自治事務(任意)
								事業体制	職員のみ
個別計画	つくば市公共施設等総合管理計画					ij	事業期間	毎年度	
10万月 四								03すべての人に健康と福祉を	
	児童神	福祉	:法]	
根拠法令等							SDGs		

事業の概要

1.71	
対象	児童館、児童センター
目的	児童が安全・安心に過ごせる保育環境の整備をする。
概要 (取組内容)	児童館機械警備委託及び消防施設点検等の施設管理委託を実施する。 建築基準法第12条に基づく建築物及び建築設備劣化状況の点検(福祉施設定期点検)を実施する。 児童館施設の修繕工事を実施する。

コストの推移

	- 2 · 1 · 2 1 E · 12									
項目				令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度		
	予算	算額	(千円)	39, 617	42, 532	89, 019	133, 993	133, 993		
事	決算額		(千円)	36, 288	49, 057	73, 378	0	0		
業	内訳	一般財源	(千円)	36, 277	49, 057	48, 478	0	0		
費		国庫、県支出金、地方債	(千円)	0	0	24, 900	0	0		
		その他	(千円)	11	0	0	0	0		
	人作	 	(千円)	4, 914	5, 605	5, 705	2, 763	2, 763		
人		正職員従事割合	(人)	0.70	0.80	0.80	0.40	0.40		
件費	内訳	正職員時間外勤務	(時間)	53. 15	64. 20	73. 75	0.00	0.00		
	п/\	会計年度任用職員有無	(-)	無	無	無	有	有		

市民参加の取組状況

共有、理解	
企画・立案、計画	
実行	
評価、検証	

1日1	1日/示 2/1 日/岁										
	指標名	児童館数			(か所)	活動結果指標				
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度				
1	目標値	18. 0	18. 0	18. 0	18. 0	18. 0	18. 0				
1	実 績	18. 0	18. 0	18. 0	18. 0	18. 0	0.0				
	指標の 概要										

	指標名				()	
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
2	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
2	実 績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の 概要						
	指標名				()	
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
3	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
3	実 績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の 概要						
	指標名				()	
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
4	目標値	0.0	0.0	0.0	0. 0	0.0	0.0
4	実 績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の 概要						
	指標名				()	
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
5	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実 績	0.0	0.0	0.0	0. 0	0.0	0.0
	指標の 概要	1 1. 号用日本					

前年度の課題への対応		施設の老朽箇所を計画的に修繕した。
	成果	並木児童館給排水設備改修工事を実施し、施設の長寿命化を図ることができた。
課	業務	児童館にはWi-Fi通信環境が整備されていない。
題	組織、予算等	
改善目標		児童館の利便性向上を図るため、Wi-Fi設置工事を行う。

評価

H 1 111111		
市民ニーズ	4	十分に高く、今後も変わらずにあると見込まれる。
進捗状況	4	年度当初の計画通りに事業を実施することができた。
市の関与	5	市が直接担うべき事業である。
優先度	3	市民ニーズや市民生活への影響等を鑑みて、継続して実施する必要がある。

方向性	継続
理由	

事業の基本情報

于 木 * / 至 / 干 · 1	17 T/V	TIA							
事務事業名	021	021 児童館での交流支援							
予算科目	01-0	030	205	-11 児童館	運営に要す	「る経費		担当部課	こども部こども育成課
市長公約								係名	放課後育成係
	Ⅲ −1	3	2	地域交流	を支援する	遊びの場の	提供	新規・継続	継続
戦略プラン								事業分類	自治事務 (任意)
								事業体制	補助金(直接)
個別計画								事業期間	毎年度
									03すべての人に健康と福祉を
	つくば市地域組織活動育成事業補助金交付要綱						an a		
根拠法令等								SDGs	

事業の概要

1 /1 - 100					
対象	乳幼児、未就学児童、保護者				
目的 地域組織活動団体等の子育て支援団体が円滑に活動できるように助成する。					
概要 (取組内容)	地域組織活動連絡協議会(みらい子育てネット)の育成及び合同事業の実施。乳幼児及び保護者等の交流を助成。				

コストの推移

	2 · 1 • 2 1 E-19							
項目				令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度
予算額		(千円)	3, 293	3, 213	3, 213	3, 213	3, 213	
事	事 決算額		(千円)	3, 174	3, 211	3, 213	0	0
業		一般財源	(千円)	3, 174	3, 211	3, 213	0	0
費	内訳	国庫、県支出金、地方債	(千円)	0	0	0	0	0
	II/\	その他	(千円)	0	0	0	0	0
	人件費計		(千円)	1, 367	1, 560	1,567	1,576	1, 576
人		正職員従事割合	(人)	0. 20	0. 20	0. 20	0. 20	0. 20
件費	内訳	正職員時間外勤務	(時間)	0.00	81. 00	75. 99	80.00	80.00
月	п/\	会計年度任用職員有無	(-)	無	無	無	無	無

市民参加の取組状況

共有、理解	
企画・立案、計画	
実行	
評価、検証	

	指標名	会員数			((人)	活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	700. 0	700.0	700. 0	700. 0	700. 0
1	実 績	0.0	690. 0	670.0	650. 0	623. 0	0.0
	指標の (個別施策Ⅲ-1-③こどもも親も楽しめる遊べる場の整備) 概要 ※指標:年度末に提出される報告書の実績値						

	指標名				()	
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
2	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実 績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の 概要						
	指標名				()	
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
3	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
0	実 績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の 概要						
	指標名				()	
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
4	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
4	実 績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の 概要						
	指標名				()	
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
5	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
]	実 績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の 概要						

サポッパ木とW				
前年度の課題への対応		地域組織活動連絡協議会(みらい子育てネット)の案内について、健康増進課職員による「あかちゃん訪問」の際にチラシを配付するとともに、子育てアプリ (つくっこ!すくすくアプリ) で発信した。		
成果		・「あかちゃん訪問」時のチラシ配布や子育てアプリ(つくっこ!すくすくアプリ)を活用した情報発信により、新たな会員の確保につながった。 ・地域組織活動連絡協議会(みらい子育てネット)の案内チラシをリニューアルすることで、活動内容を わかりやすく周知することができた。		
課	業務	新たな会員を増やすためには、既存の情報発信に加え新たな対策を講じる必要がある。		
題	組織、予算等			
改善目標		活動の現場である児童館職員と連携し、新たな情報発信の方策について検討していく。		

評価

H I IIII		
市民ニーズ	5	十分に高く、今後も増加が見込まれる。
進捗状況	4	年度当初の計画通りに事業を実施することができた。
市の関与	4	市の関与の必要性が高い事業である。
優先度	5	戦略プラン等に掲げられた市の重点事業であり、優先的に取組む必要性が高い。

77 P1 III	
方向性	継続
	_
理由	

事業の基本情報

1.76.27.11	14 1 1 1 1								
事務事業名	423	3	児:	童館運営事	業				
予算科目	01-0	0302	205	-11 児童館	運営に要す	「る経費		担当部課	こども部こども育成課
市長公約				·				係名	放課後育成係
	III -2	2	1	ニーズに	対応した児	童クラブの	環境改善と	新規・継続	継続
戦略プラン								事業分類	自治事務(任意)
								事業体制	職員のみ
個別計画	つくし	ば市	i子	ども・子育	了て支援プラ	ラン	事業期間	毎年度	
									03すべての人に健康と福祉を
	児童	福祉	L法				an a		
根拠法令等								SDGs	

事業の概要

対象	児童館・児童センターを利用する児童及び地域の利用者
目的	子供同士が共に遊びながら自主性・創造性及び協調性を養い豊かに成長していけるよう指導・援助を行う。
概要 (取組内容)	一般来館児童の遊びの指導 地域の利用者への対応と連携 児童館利用者の怪我等に対応するため施設利用者傷害保険へ加入 運営に必要な消耗品の購入及び備品等の修繕

コストの推移

		- 2 1 正 1 / 2						
項目				令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度
	予算額			42, 814	42, 930	45, 504	54, 572	54, 572
事	決算	算額	(千円)	41, 265	41, 727	43, 445	0	0
業		一般財源	(千円)	41, 265	41, 726	43, 445	0	0
費	内訳	国庫、県支出金、地方債	(千円)	0	1	0	0	0
	п/\	その他	(千円)	0	0	0	0	0
	人作	 	(千円)	5, 271	5, 256	7,829	7, 635	7, 635
人		正職員従事割合	(人)	0.70	0.70	1.00	1.00	1.00
件費	内訳	正職員時間外勤務	(時間)	200.00	200.00	379. 95	300.00	300.00
月月	11/\	会計年度任用職員有無	(-)	有	有	有	有	有

市民参加の取組状況

共有、理解	
企画・立案、計画	
実行	
評価、検証	

	指標名	児童館利用者数			((人)	活動結果指標				
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度				
4	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0				
I	実 績	377, 143. 0	274, 841. 0	283, 124. 0	320, 910. 0	336, 286. 0	0.0				
	指標の (個別施策Ⅲ-2-②魅力ある放課後の創出) 概要 ※指標は、指定管理の大曽根児童館を除く17館の計。年度末に提出される報告書の実績値とする。										

	指標名				()	
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
2	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実 績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の 概要						
	指標名				()	
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
3	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
3	実 績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の 概要						
	指標名				()	
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
4	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
4	実 績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の 概要						
	指標名				()	
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
5	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
) b	実 績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の 概要						

<u> </u>	K V / MA/N (
前年度の課題への対応		・令和5年5月に、新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置づけが「2類相当」から「5類」に引き下げられたことから、来館者数を以前の水準に近づけるためにイベントを実施した。 ・老朽化した玩具や図書等の入替を進めた。
	成果	・昨年度に引き続き「全館対抗ドッチボール大会」を開催するとともに、不特定多数が来館する「児童館まつり」等のイベントを再開した。 ・各児童館で新たな図書等を購入し設置するとともに、こども育成課でも玩具や図書を一括購入し、児童館に配布した。
課	業務	・小学生だけでなく、中学生や高校生、子育て世代の居場所としての機能を拡充する必要がある。
題	組織、予算等	・玩具や図書等の老朽化に、入替が追い付いていない。
改善目標		・中高生や子育て世代の居場所としての需要を図るため、一部の児童館で土日開放の実証実験を行う。 ・引き続き老朽化した玩具や図書等の入替を進めるとともに予算拡充について検討を行う。

評価

<u> </u>		
市民ニーズ	5	十分に高く、今後も増加が見込まれる。
進捗状況	4	年度当初の計画通りに事業を実施することができた。
市の関与	3	民間活力や民間ノウハウを活用できる事業である。
優先度	3	市民ニーズや市民生活への影響等を鑑みて、継続して実施する必要がある。

方向性	継続
理由	児童館・児童センターは、児童が放課後等に「遊びながら自主性・創造性及び協調性を養う場」として、かつ、未来子育てネット等の地域団体の活動拠点として高いニーズを有しているため。 (併せて、中高生や子育て世帯の居場所として、さらなる活用が期待されるため。)

事業の基本情報

1 / C - (III)	14 15.								
事務事業名	050		児達	童館管理事	業				
予算科目	01-0	302	205	-13 児童館	管理に要す	トる経費		担当部課	こども部こども育成課
市長公約	30	0						係名	こども施設管理係
	III -2	2	1	ニーズに	対応した児	童クラブの	環境改善と	新規・継続	新規
戦略プラン								事業分類	自治事務 (任意)
								事業体制	職員のみ
個別計画								事業期間	期間限定複数年度
									03すべての人に健康と福祉を
	児童神	畐祉	法					an a	
根拠法令等								SDGs	

事業の概要

17/01/20	
対象	児童館利用児童
目的	市立児童館全てのプレイルームにエアコンを設置することにより、気候に影響されない児童にとって快適な活動環境を提供する。
概要 (取組内容)	近年の酷暑により、夏場の児童館プレイルームの使用を制限せざるを得ない状況にある。この課題を解決するために、市立の18児童館のうちプレイルームにエアコンが設置されていない16館について、毎年度3~4か所順次設置していき、令和6年度末までに全館の設置工事を完了させる。

コストの推移

項目				令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度
	予算	算額	(千円)	44, 594	46, 772	52, 723	32,670	0
事	決算	算額	(千円)	32, 437	38, 230	42, 843	0	0
業費	-	一般財源	(千円)	8, 437	38, 230	2, 143	0	0
費	内訳	国庫、県支出金、地方債	(千円)	24, 000	0	40, 700	0	0
	п/	その他	(千円)	0	0	0	0	0
	人作	 貴計	(千円)	2,098	2, 051	2, 139	2, 080	0
人		正職員従事割合	(人)	0.30	0.30	0.30	0.30	0.00
件費	内訳	正職員時間外勤務	(時間)	19. 50	3.00	27. 66	3. 00	0.00
月	11/\	会計年度任用職員有無	(-)	無	無	無	無	無

市民参加の取組状況

共有、理解	
企画・立案、計画	
実行	
評価、検証	

	指標名	児童館プレイルーム空調新規設置箇所数 (箇所)								
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度			
	目標値	0.0	4. 0	3. 0	3. 0	3.0	2.0			
1	実 績	0.0	4.0	3.0	3. 0	3.0	0.0			
	指標の 概要									

	指標名				()	
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
2	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実 績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の 概要						
	指標名				()	
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
3	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
3	実 績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の 概要						
	指標名				()	
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
4	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
4	実 績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の 概要						
	指標名				()	
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
5	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
5	実 績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の 概要						

	年度の課への対応	
	成果	猛暑対策として、栄、上郷、吾妻東児童館のプレイルームの空調設備設置工事を実施した。 茎崎、九重児童館のプレイルームの空調設備設置工事設計委託を実施するとともに、工事期間の児童の居 場所確保について、協議を実施した。
課	業務	_
題	組織、予算等	
改善目標		_

評価

市民ニーズ	4	十分に高く、今後も変わらずにあると見込まれる。				
進捗状況	4	年度当初の計画通りに事業を実施することができた。				
市の関与	5	市が直接担うべき事業である。				
優先度	5	戦略プラン等に掲げられた市の重点事業であり、優先的に取組む必要性が高い。				

方向性	縮小
理由	例年、3児童館の設置工事を実施してきたが、令和6年度は、計画最終年度であり、残り2児童館となったことから予算の減額が見込まれるため。

事業の基本情報

1 M									
事務事業名	424 放課後児童クラブ事業								
予算科目	目 01-030205-12 放課後児童対策に要する経費							担当部課	こども部こども育成課
市長公約							係名	放課後育成係・こども施設管理係	
	III -2	2	2	児童クラン	ブにおける	こども主体	の企画の実	新規・継続	継続
戦略プラン								事業分類	自治事務 (任意)
								事業体制	一部委託
個別計画	つくば市子ども・子育て支援プラン						事業期間	毎年度	
101万月11四								03すべての人に健康と福祉を	
	児童	福祉	L法						
根拠法令等						SDGs			

事業の概要

対象	児童クラブ員
目的	保護者の就労等により放課後に保育を受けることができない児童 (1年生から6年生まで) に対して、安全・安心な居場所を提供する。
概要 (取組内容)	放課後に保育を受けることができない児童に対して、公営のみならず民営児童クラブを活用しながら、遊びを主とした生活の場・活動の場を提供する。

コストの推移

	- 2 · 1 · 2 1 E/D										
項目				令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度			
	予算	草額	(千円)	1, 599, 774	1, 936, 343	1, 968, 806	1, 583, 530	1, 583, 530			
事	決算額		(千円)	750, 289	1, 700, 159	1, 852, 147	0	0			
業		一般財源	(千円)	263, 313	248, 105	285, 134	0	0			
費	内訳	国庫、県支出金、地方債	(千円)	396, 226	1, 343, 375	1, 452, 060	0	0			
		その他	(千円)	90, 750	108, 679	114, 953	0	0			
	人件費計		(千円)	26, 412	32, 409	33, 614	32, 814	32, 814			
人件費		正職員従事割合	(人)	3. 60	4. 40	4. 40	4. 40	4. 40			
	内訳	正職員時間外勤務	(時間)	745. 00	1, 000. 00	1, 329. 68	1, 000. 00	1, 000. 00			
	p/\	会計年度任用職員有無	(-)	有	有	有	有	有			

市民参加の取組状況

共有、理解	
企画・立案、計画	
実行	
評価、検証	

	指標名	児童クラブ員数			(人)	活動結果指標			
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度			
1	目標値	3, 490. 0	4, 713. 0	5, 243. 0	5, 780. 0	6, 354. 0	6, 870. 0			
1	実 績	4, 312. 0	4, 746. 0	5, 013. 0	5, 276. 0	5, 586. 0	0.0			
	指標の 概要	(個別施策Ⅲ-2-②魅力ある放課後の創出) ※基準日:当該年度の4月1日の実績値								

	指標名	民間児童クラブの	利用人数		((人)	活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	2, 440. 0	2, 480. 0	2, 840. 0	3, 040. 0	3, 240. 0	3, 440. 0
2	実 績	2, 221. 0	2, 380. 0	2, 584. 0	2, 738. 0	2, 832. 0	0.0
	指標の 概要	公設民営、民設民 ※基準日:当該年	営の利用者数 度の4月1日の実	績値			
	指標名				()	
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
3	実 績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の 概要						
	指標名				()	
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
4	実 績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の 概要						
	指標名				()	
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
_	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
5	実 績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の 概要						

T				
前年度の課題への対応成果		・待機児童が存在するみどりの学園義務教育学校区に新たな児童クラブ施設を整備し、開設準備を実施した。 ・民営児童クラブに対し、送迎用バスに安全装置を設置するための補助を実施した。		
		・令和6年度に公設公営の「みどりの南小学校児童クラブ」が開設されることから、みどりの学園義務教育学校区で発生してた待機児童が解消する見込みである。 ・民営児童クラブを対象とした「つくば市送迎用バス安全装置設置支援事業補助金」を定めたことで、安全・安心な保育環境の整備推進を図ることができた。		
課	業務	公設公営児童クラブでは放課後指導員の慢性的な不足が続いてる状況である。		
題	組織、予算等			
2	文善目標	公設公営児童クラブの放課後指導員を募集するため、効果的な募集媒体の検討を行う。		

評価

<u> </u>		
市民ニーズ	5	十分に高く、今後も増加が見込まれる。
進捗状況	4	年度当初の計画通りに事業を実施することができた。
市の関与	3	民間活力や民間ノウハウを活用できる事業である。
優先度	5	戦略プラン等に掲げられた市の重点事業であり、優先的に取組む必要性が高い。

_	// IP/ III	
	方向性	拡大・拡充
	理由	児童クラブ数が増加傾向であり、それに伴う委託料等の経費も拡大していくため。

事業の基本情報

1.76.27.1.1	14 1 1/4								
事務事業名	426	426 放課後子ども教室推進事業							
予算科目	01-1	01-100501-18 放課後子供教室推進に要する経費					る経費	担当部課	こども部こども育成課
市長公約								係名	放課後育成係
	III -2	2	2	児童クラン	ブにおける	こども主体	の企画の実	新規・継続	継続
戦略プラン								事業分類	自治事務 (任意)
								事業体制	補助金(間接)
個別計画	つくば市子ども・子育て支援プラン						事業期間	毎年度	
									03すべての人に健康と福祉を
根拠法令等							SDGs		

事業の概要

1.71	
対象	市内小学校、義務教育学校の児童
目的	子供たちに様々な体験活動や交流活動の機会を提供するとともに、地域全体で子供たちを育てていくという意識の向上を図る。
概要 (取組内容)	市内小学校及び義務教育学校において、余裕教室等を利用し、全児童対象に放課後子供教室を開催する。地域住民の参画を得て、様々な体験活動や交流活動等を行い、豊かな遊びと学びの機会を提供する。

コストの推移

		- 2 1 正 1 / 2						
項目				令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度
	予算額		(千円)	7, 508	9, 640	11,033	10, 534	10, 534
事	決算額		(千円)	5, 557	7, 316	9, 991	0	0
業	内訳	一般財源	(千円)	2,856	3, 086	5, 018	0	0
費		国庫、県支出金、地方債	(千円)	2, 701	4, 230	4, 973	0	0
		その他	(千円)	0	0	0	0	0
	人件費計		(千円)	7, 396	7, 375	5, 891	5, 396	5, 396
人		正職員従事割合	(人)	1.00	1.00	0.70	0.70	0.70
件費	内訳	正職員時間外勤務	(時間)	231. 00	231. 00	435. 50	231. 00	231. 00
月月	11/\	会計年度任用職員有無	(-)	有	有	有	有	有

市民参加の取組状況

共有、理解	開催する学校ごとに、開催内容等を文書で保護者に知らせ、協力してくれるボランティア (有償)を募った
企画・立案、計画	市と連携するコーディネーターが、学校や地域ボランティア等との調整をし、企画を行う
実行	市、学校、コーディネーター、ボランティアで連携して放課後子供教室を実施
評価、検証	コーディネーターから事業報告書を徴し、効果や改善方策の共有を行う

1 11 1	.(V, x) IE(Q)							
	指標名	実施学校数			((校)	活動結果指標	
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度	
	目標値	34.0	34.0	34. 0	34.0	36. 0	37.0	
1	実 績	34.0	34.0	34. 0	34.0	36. 0	0.0	
	指標の 概要		-②魅力ある放課後 の実施対象である					

	指標名				(()	
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
2	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実 績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の 概要						
	指標名				(()	
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
3	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
3	実 績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の 概要						
	指標名				(()	
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
1,	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
4	実 績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の 概要						
	指標名				(()	
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
_	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
5	実 績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の 概要						

	年度の課への対応	・季節や参加者ニーズに応じたプログラムを企画し、参加者のリピート化や口コミ周知の増加を図った。 ・学校と連携し、学校・保護者間の連絡アプリ「スクリレ」を活用した周知を実施した。 ・未実施の学校関係者へ対し、直接、事業の目的・内容等の説明を実施した。
	成果	・新設の「研究学園交流ひろば」で「ハロウィンパーティー」(全学年対象、定員なし)を開催し、事業の認知度向上を図ることができた。 ・「スクリレ」の活用で、保護者に直接周知することが可能となり、チラシ配布作業も削減できた。 ・未実施の学校関係者の理解・醸成が進み、学校で放課後子供教室が開催できるようになった。
課	業務	現状、参加申込方法が紙媒体に限られており、特に「交流ひろば」での放課後子供教室は、昼間に就労している保護者から申込方法の改善策を求められている。
題	組織、予算等	
Ę,	女善目標	保護者ニーズに対応するため、「交流ひろば」での放課後子供教室の申込方法は、電子申請方式を導入していく。

評価

H 1 IIII		
市民ニーズ	5	十分に高く、今後も増加が見込まれる。
進捗状況	3	やや遅れたが、今年度の事業計画は達成された。
市の関与	4	市の関与の必要性が高い事業である。
優先度	5	戦略プラン等に掲げられた市の重点事業であり、優先的に取組む必要性が高い。

// IP/ III	
方向性	拡大・拡充
理由	放課後子供教室の開催ニーズは、年々増加傾向であり、今後も開催件数の増加が見込まれるため。